

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FW

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

高須認定子ども園 様

高須認定こども園様に2019年6月に導入された ORPHIS FW5231II の感想を田中園長先生に伺いました。

子ども達の育つ姿を伝えるために……

当園は、公立の認定こども園として「幼稚園」「保育園」「子育て支援」の3つの機能を併せ持ち、就学前の子どもの教育及び保育を提供と、さまざまな子育て支援に関するサービスを提供しています。毎年教育テーマをクラスごとに決め、そのテーマをクラス便りのタイトルとして1年間採用しています。クラス便りはこれまでモノクロコピー機で出力して配布していましたが、保護者分を配るには1枚当たりのコストが高く、印刷にも時間がかかっていましたので非常に不便を感じていました。その中でも特にネックになっていたことが、せつかく元気でのびのびした教育テーマを立てても、見た目がモノクロではその魅力が半減してしまうことと、そこに映る子ども達の姿・表情がどこかしら暗く感じてしまうことでした。園で育つ子ども達の姿を保護者の方や地域の方に分かりやすく伝えるにはどうしたらいいかと考えていたときに提案されたのがORPHISでした。

カラー化による視覚的効果の向上

ORPHIS導入でまず変わったことは、あらゆる掲示物の視覚効果が向上したことです。ORPHISのカラー印刷が2.45円と低コストでできるとはいえ、市の予算内でやりくりしているためカラー印刷は必要最低限に抑えています。来園される人が必ず目を通す「お知らせ」の掲示板に提示する印刷物は、内容と園の想いをしっかり伝えたいためにカラー印刷したものにしました。ORPHISでカラー印刷したクラス便りや園便りは、子ども達の表情が鮮明に伝わりやすくなり、イラストや文字に色がつくことで単調であった便りも季節感や園の優しい印象を出す事が出来るようになり、お知らせ掲示板も色づき華やかとなり、足を止めて見てくれる人が増えましたね。子ども達が「あ、自分がお便りにのってる！」と笑顔で保護者に伝えている姿を見て、カラー化してよかったと実感しています。事務所内掲示のスケジュール表やシフト表なども現在カラーで出力していますが、内容が一目見ただけで把握できるので、視覚効果向上が園内での働き方改革にもつながっていますよ。

すべて一台でまかなえる!?

園内では、年間イベントに合わせて画用紙や厚紙、はがきなど印刷が多岐に渡ります。用紙の種類を問わず1台で印刷できるのもORPHISの強みですね。保育日誌などの小枚数の印刷から、印刷部数の多い入園のしおりや行事マニュアルもすべてORPHISで行っています。印刷枚数や種類に合わせて機械を変える手間がないので、「ORPHISをどう活用すればこの印刷が出来るかな」「ORPHISならこの印刷できるかも」と日々印刷に思考を凝らしていますよ。今後はORPHISに対応した用紙などにも精通したジムブレンさんの知恵もお借りしながら、紙のコミュニケーションを通して園の特色を出しながら今後も配信していきたい思います。



掲示物にも積極的にカラーを使い、目を引く印刷物を作るよう心がけています。

営業担当者の声



営業担当：橋本 浩明

ORPHISを活用しカラーを使用することで、視覚での学びを実施していただき、伝える効果を実感していただけた事を、大変嬉しく思っております。先生方の印刷業務短縮にも貢献できており、今後もより一層活躍できるよう努めて参ります。